

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】四万十町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
43	2010.7.30			高知県	四万十町	20,403	642.06
構想の要約		四万十町は、農・林・水産及び畜産バイオマスや、生ごみ・汚泥などの都市型バイオマスを、エネルギーとマテリアルの両輪による循環型の資源として利活用し、四万十川の清流を守り、環境に優しい町づくりと「山と川と海、自然と人が元氣」な町の構築を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1. ヒノキオイル抽出試験事業 2. 農芸ハウス栽培への木質ペレット利用実証事業 3. 樹皮などを利用した農芸ハウス・温浴施設向けのバイオマス熱供給 4. 森林資源、農産物残さを活用したバイオマス燃料製造とマテリアル利用の促進 5. 森林資源を活用したエタノール・リグニン製造 6. 四万十町オフセット・クレジットの発行 7. 家畜排せつ物(特に養豚の尿)適正処理・有効利用の検討会議 8. 地域循環型家畜排せつ物の有効利用の促進 9. シイラの加工・加工残さの利活用推進 10. 汚泥再生処理センターの建設					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)	○	野菜等非食部	○	
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油		果樹剪定枝		
水産加工残さ	○	竹材	○	
製材工場等残材	○	その他( )		
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他( )				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(精油、リグニン)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	○
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

		現 在				将来(目標)				
		賦存量		変換処理方法	利用率 (%)	今後の利活用方策	仕向量		利用率 (%)	
		重量換算 (t/年)	炭素換算 (t-C/年)				重量換算 (t/年)	炭素換算 (t-C/年)		
廃棄物系バイオマス		38,232	3,331		81%		38,080	3,301	99%	
木質 (a)	原木市場等での樹皮等	185	41	破砕後、一部を販売	10%	主にエネルギー利用(直接燃焼、燃料化) ■利活用メニュー ①-(3)、(4)、(5)など	185	41	100%	
	原木市場等での低質材	1,920	428	チップ用材として販売	100%		1,920	428	100%	
	製材所残材	1,082	241	乾燥機燃料、チップ販売	96%		1,082	241	100%	
	建設発生木材	1,814	799	再資源化	47%		1,723	759	95%	
	小計(a)	5,001	1,509		69%		4,910	1,469	97%	
畜産 (b)	肉用牛(ふん)	2,072	108	たい肥化(たい肥センター、自家施設) 豚は固液分離、ばっ気の後、排水処理	100%	■利活用メニュー ②-(1)など	2,072	108	100%	
	〃(尿)	717	9		100%		717	9	100%	
	乳用牛(ふん)	4,458	339		100%		4,458	339	100%	
	〃(尿)	1,258	16		100%		1,258	16	100%	
	豚(ふん)	6,945	789		100%		6,945	789	100%	
	〃(尿)	13,104	136		0%		13,104	136	100%	
	探卵鶏・ブロイラー	3,468	361		100%		3,468	361	100%	
小計(b)	32,022	1,758		92%	32,022	1,758	100%			
水産(c)	漁業残さ(産廃)	13	1	(シイラ加工残さ)	0%	たい肥化、燃料化 ■利活用メニュー ③-(1)、(2)など	13	1	100%	
汚泥 (d)	し尿・浄化槽汚泥	121	12	焼却処理	0%	たい肥化、エネルギー利用 ■利活用メニュー ④-(1)、(2)など	121	12	100%	
	下水・農業汚泥	89	9	たい肥化	66%		89	9	100%	
	小計(c)	210	20		28%		210	20	100%	
生ごみ・食品加工残さ (e)	家庭生ごみ	371	16	たい肥化(大正地区)、生ごみ処理機	9%	たい肥化、エネルギー利用 ■利活用メニュー ④-(1)、(2)など	371	16	100%	
	食品製造業(産廃)	615	27	再生利用	86%		554	24	90%	
	小計(d)	986	44		57%		925	41	94%	
未利用バイオマス		81,135	16,460		4%		34,810	7,067	43%	
木質 (ア)	林地残材(林道・山土場)	3,383	753	林内放置(※専業農に異合するのは搬出済み、未利用量のみの算定)	0%	マテリアル利用(精油など)、エネルギー利用(直接燃焼、燃料化) ■利活用メニュー ①-(1)、(2)、(3)、(4)、(5)など	1,691	377	50%	
	切捨間伐材	18,160	4,045		0%		9,080	2,022	50%	
	自伐林家の林地残材等	1,194	266		0%		597	133	50%	
	腐ぼだ(しいたけ)	1,688	376		土壌還元		0%	844	188	50%
	小計(ア)	24,424	5,440				0%	12,212	2,720	50%
農業 (イ)	稲わら	8,386	2,401	敷材、たい肥化など(85%はすき込み)	5%	家畜排せつ物などとともにたい肥化 ■利活用メニュー ②-(1)など	2,097	600	25%	
	もみ殻	1,655	474	たい肥化、炭炭、敷材など	100%		1,655	474	100%	
	農作物残さ等(ニス、シヨウガ、ミョウガ、ニラ、シシトク、スプレー菊)	1,789	146	放置	0%		895	73	50%	
	小計(イ)	11,830	3,021		20%		4,646	1,147	38%	
その他 (竹、ヨシ) (ウ)	竹 <sup>(注)</sup>	44,728	7,987	(大部分が手つかず)	0%	(賦存量の精査とともに、利活用方法を検討)	17,891	3,195	40%	
	ヨシ <sup>(注)</sup>	152	12	(大部分が手つかず)	0%		61	5	40%	
	小計(ウ)	44,880	7,999		0%		17,952	3,200	40%	
合計		119,367	19,792		17%		72,890	10,368	52%	

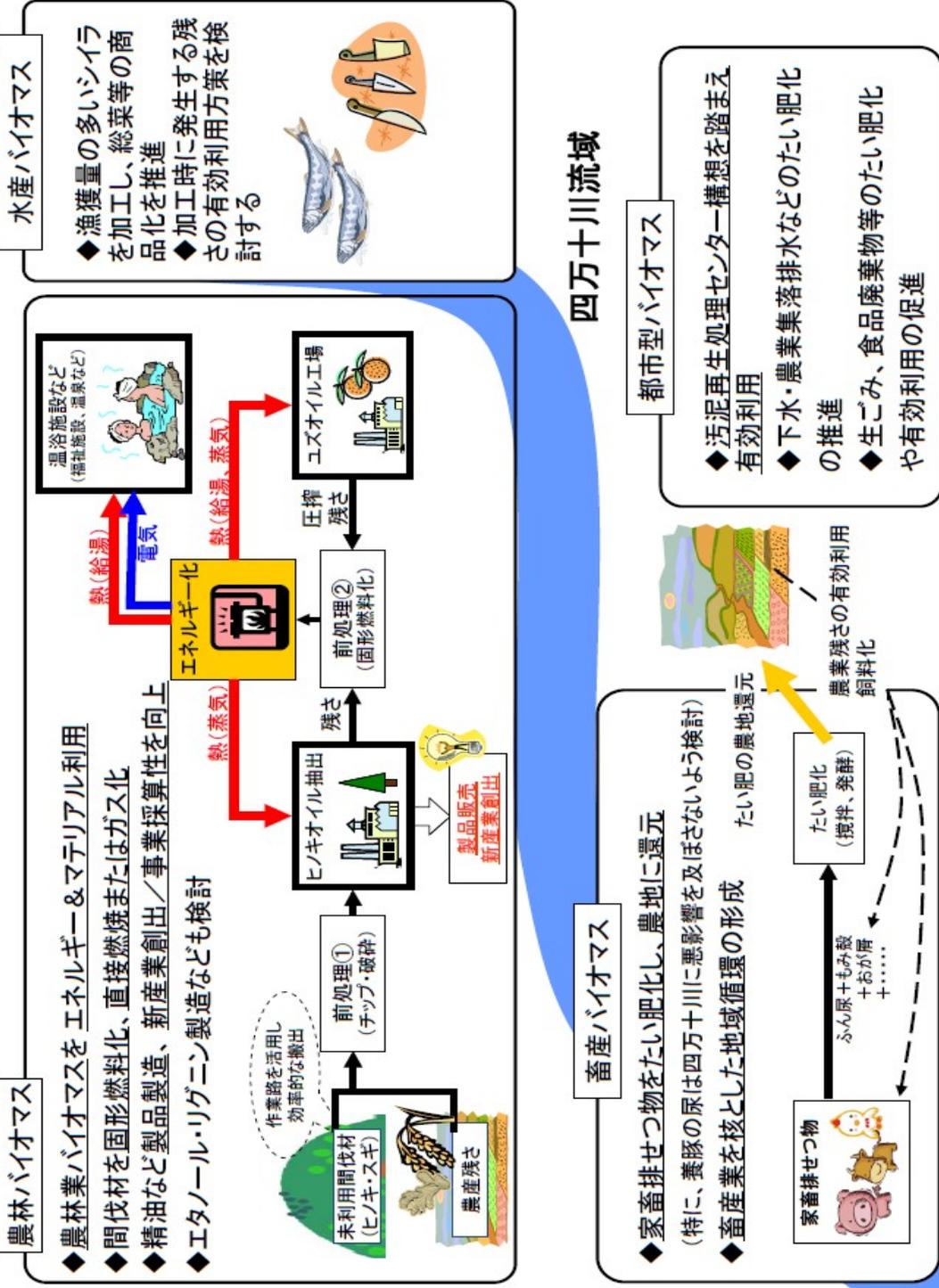
※1：賦存量等の数値について小数点以下を四捨五入したため、合計及び利用率が合わないことがある。

※2：炭素換算量=湿潤重量×(1-含水率)×炭素含有率

(算出の前提条件等は、「9. 地域のバイオマス賦存量及び現在の利用状況」を参照)

※3：竹、ヨシについては、関係者の協力を得つつ、情報収集を進め、賦存量の精査、利活用方策について検討を行う。

四万十町におけるバイオマス利用のイメージ



### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)